

正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2021年4月9日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

タイトル

基礎からわかる機器分析

正誤対象

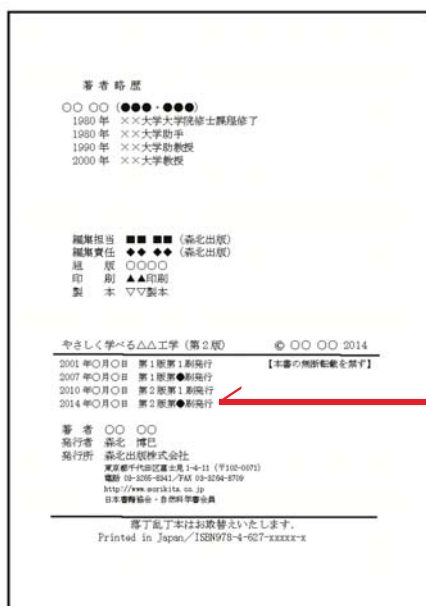
お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

お持ちの本の刷数	
1	対応刷数 1 より 8 までをご参照ください
2	対応刷数 2 より 8 までをご参照ください
3-6	対応刷数 6 より 8 までをご参照ください
7	対応刷数 7 より 8 までをご参照ください
8	対応刷数 8 をご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません

刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応 刷数	頁	行数, 図・ 表・式番号	誤	正
2	14	式 (2.7)	$\dots = I_0(1-10^{ecd})$	$\dots = I_0(1-10^{-ecd})$
7	14	右の段 4行目	$1-10^{ecd}$ をテイラー展開し, …	$1-10^{-ecd}$ をテイラー展開し, …
2	15	表 2.6	蛍光試薬 … 定量範囲 共存すると妨害となる元素 … 2-メチルオキシシン … 20~500 鉄,カドミウム Cd, スズ Sn, インジウム In, 鉄 … 4~100 バナジウム V, 銅 Cu 5-スルホオキシシン … 40~800 アルミニウム, ガリウム, カドミウム, 銅, 亜鉛 … 40~8000 Zn, 鉄, コバルト Co, アルミニウム, ガリウム	蛍光試薬 … 定量範囲 共存すると妨害となる元素 … 2-メチルオキシシン … 20~500 鉄, カドミウム Cd, スズ Sn, インジウム In … 4~100 鉄, バナジウム V, 銅 Cu 5-スルホオキシシン … 40~800 アルミニウム, ガリウム, カドミウム, 銅, 亜鉛, Zn … 40~8000 鉄, コバルト Co, アルミニウム, ガリウム (赤字の元素の行を移動)
2	28	右の段 下から2行目	この不連続を吸収論という.	この不連続を吸収端という.
1	32	表 4.3	(軸角) $\gamma = 1201$	$\gamma = 120^\circ$
1	33	式 (4.10)	$\dots + f_a \cos 2n\pi(hx_b + ky_b + lz_b) + \dots$	$\dots + f_b \cos 2n\pi(hx_b + ky_b + lz_b) + \dots$ (fの添え字 a→b)
1	33	式 (4.11)	$\dots + f_a \sin 2n\pi(hx_b + ky_b + lz_b) + \dots$	$\dots + f_b \sin 2n\pi(hx_b + ky_b + lz_b) + \dots$ (fの添え字 a→b)
1	34	図 4.12	(左下) θ_2	θ_1
1	34	式 (4.17)	$I = \frac{Q_i w_i I_0}{2 \sum_j w_j \mu_j}$	$I = \frac{Q_i w_i I_0}{2 \sum_j w_j \mu_j}$
2	37	右の段 下から 11行目~	係数値を Nとしたとき, …	計数値を Nとしたとき, …
7	42	右の段 下から9行目	…吸収短波長…	…吸収端波長…
6	68	左の段 下から2行目	…これを電子衝撃法 (EI法: electron impact ionization) …	…これを電子イオン化法 (EI法: electron ionization) …
6	68	図 7.1 の キャプション	電子衝撃法による分子のイオン化と開裂の様子	電子イオン化法による分子のイオン化と開裂の様子

6	69	7.13 節 2行目	… <u>電子衝撃法</u> (EI 法 : electron <u>impact</u> ionization) …	… <u>電子イオン化法</u> (EI 法 : electron ionization) …
6	70	左の段 下から2行目	… <u>電子衝撃法</u> …	… <u>電子イオン化法</u> …
6	70	表 7.1 の2行 目1番左列	電子 <u>衝撃法</u> (EI 法)	電子 <u>イオン化法</u> (EI 法)
6	71	左の段 6行目	… <u>電子衝撃法</u> …	… <u>電子イオン化法</u> …
6	71	脚注1行目	電子 <u>衝撃法</u> …	電子 <u>イオン化法</u> …
6	73	式(7.9)	右のように (赤丸内の分岐を追加)	<p style="text-align: center;">分岐アルカン</p> <p style="text-align: center;">$m/z M^{+\bullet}$</p>
6	74	式(7.11)	m/z <u>42</u>	m/z <u>41</u>
2	77	式 (7.29)	$RHC=CH_2 + RH'C\cdots$	$RHC=CH_2 + R'HC\cdots$ (ダッシュの位置)
6	77	式(7.30) 1行目	右のように (+• を入れる)	
6	77	式(7.31) 2行目	右のように (H を加える)	<p style="text-align: center;">四員環水素移動</p>
6	78	7.2 1行目	ブロモブタンの質量スペクトルは, m/z 15(CH_3^+)と 14(CH_2^+)のほかに, m/z <u>79</u> と <u>81</u> に…	<u>1</u> -ブロモブタンの質量スペクトルは, m/z <u>136</u> と <u>138</u> に…
2	81	式 (8.2)	… $\times 6.022 \text{ mol}^{-1} \times 10^{23}$	… $\times 6.022 \times 10^{23} \text{ mol}^{-1}$
2	82	右の段 7行目	ここで E^0 は標準電池電位である.	ここで E^0 は標準電極電位である.

2	94	問題 8.4	(反応式 1 行目) $\cdots + \text{Br}_2 \rightarrow$ (反応式 2 行目) $2\text{Br}^- + 2\text{e} \rightarrow \text{Br}_2$	(反応式 1 行目) $\cdots + 3\text{Br}_2 \rightarrow$ (反応式 2 行目) $2\text{Br}^- \rightarrow \text{Br}_2 + 2\text{e}^-$
2	100	右の段 3 行目	信号は資料の濃度に…	信号は 試料 の濃度に…
2	101	左の段 下から 11 行目	変曲点に折線を引いて, …	変曲点に 接線 を引いて, …
6	101	右の段 5 行 目から 9.3.6 直前まで	「 分離係数 」以下式(9.5)までの 17 行を右のように変更し, 脚注の 13 と 14 を入れ替える.	<p>分離係数 (resolution) α は, 任意の二つのピークの実分離度合いを表し, 式(9.3)で表される.</p> $\alpha = \frac{t'_{r2}}{t'_{r1}} = \frac{k'_2}{k'_1} \quad (9.3)$ <p>また, よく使うパラメーターとして分離度 R_sがある. これは式(9.4)で表される^{*13}.</p> $R_s = \frac{2 \cdot \Delta t_r}{(w_1 + w_2)} \quad (9.4)$ <p>ここで, Δt_r は二つのピークの保持時間の差(正の値をとるように選ぶ), w はピーク幅である^{*14}. 分離度が 1 のとき二つのピークは 2,3% 重なり, 1.5 以上ではほぼ完全に分離する.</p> <p>二つのピーク幅が同じと仮定し, R_sを理論段数, α およびキャパシティーファクター k'に関連づけた式(9.5)もよく用いられる.</p> $R_s = \frac{\sqrt{N}}{4} \cdot \frac{(\alpha - 1)}{\alpha} \cdot \frac{k'}{(k' + 1)} \quad (9.5)$ <p>分離度は理論段数の平方根に比例し, カラム長さを 2 倍にすれば分離度は約 1.4 倍になる.</p>

2	106	左の段 下から 14行目	非極性固定相に極性固定相を用いる…	非極性固定相に極性溶媒を用いる…
2	106	右の段 下から 11行目	$nR - N^+(CH_3)_3OH^- A^{n-}$	$nR - N^+(CH_3)_3OH^- + A^{n-}$ (OH ⁻ とA ⁿ⁻ の間に+)
8	114	解答 2.2 1行目	$(c_A, c_B) = (1.84 \times 10^{-4} \text{ mol dm}^{-3}, 1.14 \times 10^{-4} \text{ mol dm}^{-3})$	$(c_A, c_B) = (1.14 \times 10^{-4} \text{ mol dm}^{-3}, 1.84 \times 10^{-4} \text{ mol dm}^{-3})$
2	114	解答 2.3 (2)	$A = 0.1988C - 0.019$	$A = 0.1988C - 0.0019$
6	115	解答 5.2 1行目	…分子内水素…	…分子間水素…
6	116	解図 6.1(3)	C-H×6 6H	CH ₂ ×6 12H
6	117	7.4(2)	… (C ₇ H ₇ ⁺ : トリピウムイオン)	… (C ₇ H ₇ ⁺ : トロピリウムイオン)
6	117	7.5(4)	… (C ₇ H ₇ ⁺ : トリピウムイオン)	… (C ₇ H ₇ ⁺ : トロピリウムイオン)
6	117	7.5(11)	…43 (C-C≡C ⁺)	…43 (C-C=C ⁺)
2	117	問題 8.1	$E = 0.222 - 0.0591 \ln 4$	$E = 0.222 - 0.0591 \log 4$
2	118	問題 8.6(1)	$R = \frac{l}{\kappa} \dots$	$R = \frac{1}{\kappa} \dots$ (分子エルではなく数字の1)
2	118	問題 8.6(2)	(2) (1)のセルを用いたとき, 0.5 mol dm ⁻³ 塩化アンモニウム… … … $\Lambda_m = \frac{0.061}{0.5} = 0.12$	(2) (1)のセルを用いたとき, 0.3 mol dm ⁻³ 塩化アンモニウム… … … $\Lambda_m = \frac{0.061}{0.3} = 0.20$
1	120	さくいん	高速原子衝突法 70	高速原子衝突法 69
6	121	さくいん	電子衝撃法…	電子イオン化法…